



民主党プレス民主編集部 2006.10

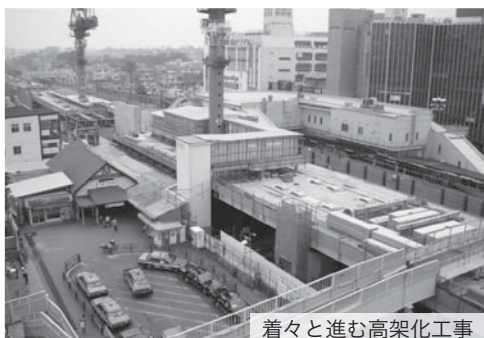
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 press@dpj.or.jp http://www.dpj.or.jp

電話 03-3595-9988 (代表) 定価 200 円 (本紙・消費税込み) 年間購読料 3000 円 (送料含む)

【お問い合わせ先】 民主党小金井支部 小金井市本町1-6-2 アリスビル1階 TEL042-386-5771

号外 小金井版

# — 武蔵小金井駅南口再開発 —



着々と進む高架化工事

◆JR中央線連続立体化工事  
 駅東側の踏切は「開かずの踏切」として、全国的に有名で、南北の往来を長年妨げてきました。現在、JR中央線の連続立体化事業が進められており、平成20年秋には小金井市に関する部分が完成する予定です。事業主体は東京都ですが、小金井市も予算措置などで、応分の負担をしています。

完成後には、市内7箇所の踏切が解消され、南北が一体のまちづくりが可能となり、より小金井市が発展することを期待できます。



▲武蔵小金井新駅舎イメージ (※駅舎完成は平成22年春の予定)

私たち民主党は、『市民の利便性、小金井市の活性化、歳入の確保などを目的とした駅周辺の整備事業は小金井市の緊急課題である』と訴えて参りました。多くの市民のまちづくりへの期待をこめた武蔵小金井駅南口再開発について、進捗状況を報告するとともに、より良いものとするために今後も努力して参ります。

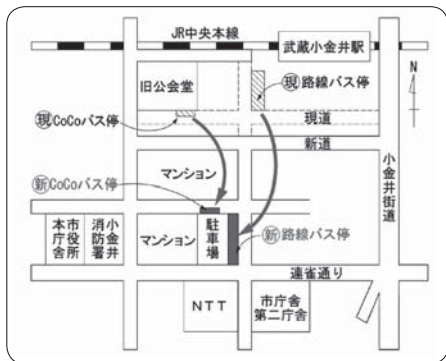
民主党小金井支部議員団一同

## 平成21年3月完成に向けて進行中!

◆武蔵小金井駅南口再開発事業  
 再開発事業により、現在の9倍の面積になる駅前交通広場は、便利で安全な広場となります。バス・タクシートの乗降が楽になり、障がい者や高齢者の方々にも利用しやすい広場に生まれ変わります。

また、賑わいの拠点となるフエスティバルコートを中心に、魅力あふれる専門店、日常生活に密着した大規模店舗(イトーヨーカドー)、公益施設の「(仮称)市民交流センター」、商業・業務施設が配置されています。

武蔵小金井駅南口再開発に伴い、京王バス、COCOバスの乗り場が、2006年11月初旬より、下図の通り一時変更となる予定です。お間違えのないように、ご乗車下さい。



### バス停が変わります

### 《今後の主な予定》

2006年(平成18)	建物等解体・道路整備工事 着工 ●小金井街道沿い商店街、仮設店舗へ移転 ●小金井市公会堂、取り壊し(10月末)
2007年春(平成19)	中央線下り線が高架へ切り替え 1-1・1-3街区着工予定
2008年5月ごろ(平成20)	イトーヨーカドー オープン
秋冬	中央線上り線が高架へ線路切り替え 住宅専門棟に入居開始予定
2009年6月ごろ(平成21)	(仮称)市民交流センター オープン

### 民主党小金井支部議員団



顧問 菅直人 (衆議院議員)



支部長 西岡真一郎 (東京都議会議員)



幹事長 小川和彦 (小金井市議会議員)



幹事 斉藤康夫 (小金井市議会議員)



幹事 宮崎晴光 (小金井市議会議員)



幹事 村山秀貴 (小金井市議会議員)

# 進め始めた 東小金井駅北口区画整理事業

### ◇中央線連続立体 交差化の条件だった

東小金井駅北口区画整理は、「中央線連続立体交差化事業推進のための必須条件」として平成6年4月に地元提案されました。その後、平成7年に都市計画決定、平成12年に事業計画決定がなされたが、一向に進展しませんでした。



▲現在の東小金井駅北口付近の様子

### ◇苦渋の選択から始まった 話し合い

その後、規制のため老朽化した家の建て替えもできない権利者から、「少しでもベターな早期完結」のため話し合いを求める機運が盛り上がり、権利者による『東小金井駅北口まちづくり協議会』が平成14年に発足したものの進展は見られず、『当事者能力のある行政』を求める声が上がったため、他市行政から区画整理経験者の派遣を受け交渉に当

たった結果、地元の声が行政に通る様になり、平成17年9月に反対の立場を取っていた人たちも含めた区画整理審議会が発足しました。

### ◇民主党は解決に向けて 全力投球

区画整理区域内に住んでいる宮崎晴光民主党市議会議員は、平成17年3月までは一市民(まちづくり協議会委員)として、また平成17年4月から地元議員として権利者と共に、区画整理の民主的早期解決に努力しています。

### ◇こんな予定で進みます

平成18年3月末には仮換地指定(新しい移動先を決める手続き)のための従前の地積決定(現状の土地の面積の決定)が行われ、平成19年4月には仮換地案が個々の地権者に示されます。その後順調に行けば図の通り平成24年に完了の予定です。

## 事業スケジュール

平成7年	平成12年	平成19年	平成20年	平成24年
都市計画決定	事業計画決定	仮換地案提示	工事着工	区画整理完了

## 小金井市と東京都の 発展のために

※民主党小金井支部長・西岡真一郎都議会議員(総務委員会副委員長、オリンピック招致特別委員会委員)にお話をうかがいました。

### Q1 都政の現状をお聞かせ下さい。

様々な課題が山積していますが、その基本は強固な財政基盤と行政の質的向上です。財政再建は、平成17年度普通会計決算の実質収支が52.9億円の黒字・経常収支比率85.8%となり、第二次財政再建プランの目標(90%以下)を達成しましたが、今後の団塊世代の大量退職やオリンピック等の財政需要に対応するため、予断を許さない状況です。年間予算約1兆2千億円、都職員約17万人、1260万人が暮らす巨大都市東京。その都議会の議席の重さを痛感し、与えられた職責を全うすべく、研鑽を重ねて参ります。

### Q2

東京都がオリンピック国内候補地に選ばれました。オリンピック招致は今後の焦点です。先日私の一般質問の中でも、オリンピックをテコとした東京の水循環回復と東京湾水質改善について知事に質問しました。平和希求の姿勢と環境先進都市の技術を世界に発信していくことが大切な理念であり、その実現に向けて都議会の役割を益々高めて行きます。また多摩地域へのオリンピック効果波及のための施策推進は私の使命であると考えています。

### ▶都庁周辺



### Q3 都政と市政の発展の為に取り組んでいることは。

JR中央線高架化に関し、横断歩道橋を長期使用できる工夫を都に働きかける、東小金井駅北口区画整理事業と関連する南北道路の早期事業化に取り組み等、小金井市政と関係する都政に積極的に従事しています。今後小金井市は、駅周辺まちづくりの着実な推進と、これに平行して、豊かな緑を活かした水循環等の環境先進都市、充実した福祉先進都市、子育て支援も含めた教育先進都市としての政策を推進することが重要課題です。これらの政策実現には、都の財源移譲も含めた市区町村への支援体制が必要となります。こうした視点で、今後も小金井市発展のため都政とのパイプ役として精一杯行動して参ります。

### Q4 市民の皆様へメッセージをお願いします。

民主党小金井支部の関係者とも協力し、市民の皆様と共に小金井と多摩、そして東京都の発展のため、粉骨砕身の覚悟で臨みます。「政治は市民のためにある。」をモットーに邁進して参りますので、民主党小金井支部への市民の皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

## 小金井市ごみ非常事態宣言！

二枚橋焼却場は、施設の老朽化が進み危険な状態のため、本年10月から順次焼却炉を停止し、来年3月末までに完全に操業停止することになりました。現状、調布市は三鷹市との共同処理、府中市は多摩川衛生組合で一括処理と方向が定まっています。小金井市は、一昨年から国分寺と「燃やすごみ」の共同処理を目指して、調整を進めてきた結果、本年8月18日に覚書(下囲み参照)を締結しました。

しかし、国分寺市民の中には小金井市のごみ受け入れに否定的な意見もあり、また、国分寺市の焼却場の能力では、小金井市のごみの1/3程度しか処分できないため、来年4月以降は他の自治体の焼却施設に広域支援として処理をお願いしなければならないなど、予断を許さない状況です。

### 小金井市の呼びかけ

このような状況のもと、小金井市では燃やすごみを10%減量するため、市民一人当たり一日50グラムのごみ減量を10月1日から呼びかけることとしました。駅頭での協力要請や、リーフレットを全戸配付する等の啓発活動を行うことになっています。

もつとも、小金井市民一人当たりのごみ排出量は多摩26市で4番目に少なく、市民の中には「ごみ非常事態宣言」として市民にごみ減量を求めることに対し疑問の声も出ています。こうした状況を踏まえ、来年4月以降の処理を円滑に行うためにも、小金井市として責任ある対応が求められています。



▲操業停止する二枚橋焼却場

1. 来年3月末までは、二枚橋焼却場で処理できない小金井市分を二枚橋衛生組合のごみとして、国分寺市の焼却場で「広域支援」として処分する。
2. 小金井市は、平成19年4月1日以降の広域支援が円滑に進むように、可燃ごみの共同処理に向けて平成19年2月までに新焼却場(平成29年度稼働予定)の建設場所に関する事及び建設へのスケジュールを含めて、一定の方向を国分寺市に示すものとする。